

## 掌砲長職務

### 第一条

掌砲長ハ火薬庫砲臺其他兵器一切ヲ請持チ當ニ之レヲ實用ニ供スルヤウ注意スヘシ

(兵器請取)

### 第二条

掌砲長ハ大砲及ヒ附属品其他兵器ヲ請取ル時ハ擔當士官ノ命ヲ受ケ其場所ニ立會ヒ其品目ノ全備セルヤ又夕適應ナルヤ否ニ注意スヘシ

(砲座準備)

### 第三条

掌砲長ハ毎朝点檢ノ節砲臺諸具ノ齊頓セルヤニ注意シ夕点檢ノ節モ砲臺差障リナク夜中戦争準備整ヒタルヤニ注意スヘシ但シ副長ヨリ尋問アラハ速ニ之レニ應當スヘシ

(彈丸檢視)

### 第四条

掌砲長ハ時々弾庫内ヲ檢視シ其他都テ請持ノ物品欠損シ或ハ用立サル時ハ速ニ此趣ヲ副長ニ報告スヘシ

(装薬爆発物)

### 第五条

掌砲長ハ諸種ノ装薬アル時ハ能ク之レヲ區別シ又總テ信管ノ如キ爆発物ハ所定ノ場所ニ貯蓄シ決シテ之レヲ火薬庫内ヘ置クヘカラス

(火薬庫点檢)

### 第六条

主砲長ハ火薬ヲ艦内ヘ請取ラサル以前火薬庫ノ状景ヲ檢

査シ其庫火薬ヲ入ルニ適當セルヤ或ハ其庫内乾燥セルヤ否ニ注意スヘシ

(火薬庫内注意)

### 第七条

掌砲長ハ命令ナケレハ猥リニ火薬庫ヘ入ルヘカラス又夕火薬庫ノ戸ハ自ラ之レヲ開閉スルカ或ハ掌砲次長或ハ長属ヲシテ開閉セシムヘク決シテ他ノ者ヲシテ之レヲ開閉セシムヘカラス又属員ノ庫内ヘ入ルモノハ発火物ヲ携ヘサルヤウ或ハ常靴ヲ用ヒサルヤウニ注意スヘシ

(塗末物)

### 第八条

燈室ト火薬庫トノ間ノ塗末物ハ時々檢査シテ決シテ火氣ノ火薬庫ヘ透入ノ恐ナキヤウ注意スヘシ

(注水嘴)

### 第九条

非常ノ時ニ際シ火薬庫注水嘴ノ取扱ニ注意シテ臨時不都合之レナキヤウ深ク注意スヘシ

(彈薬收入)

### 第十条

掌砲長ハ火薬或ハ填薬彈ヲ艦内ヘ請取ル時ニ當リ副長ノ命ヲ奉シ火薬庫或ハ弾庫ノ燈火ヲ除クノ外内一切ノ燈火及ヒ火氣ヲ消滅シタルヤ否ニ注意スヘシ又夕火薬或ハ填薬彈ヲ各庫ヘ納ムル時ハ自ラ之レニ管カリ盡ク之れを取蔵シ彈薬箱ノ蓋ヲ鎖閉シ直チニ庫内ヲ掃除セシメテ后チ属員ヲシテ庫外ヘ行カシメ又夕火薬庫或ハ弾庫ノ燈火ヲ消滅セシメ自ラ火薬庫彈薬交付所及ヒ燈室ヲ鎖閉シテ后チ其鍵ヲ艦長或ハ副長ニ返納スヘシ

(火薬庫外火薬ヲ置ク時)

第十一條

掌砲長ハ火薬ヲ火薬庫ノ外他ノ場所ニ置クヘカラサル事ニ注意スヘシ但シ艦長ノ命ニヨリ火薬ヲ安全ノ箱ニ入レ番兵ヲ附シテ他ノ場所ニ置ク時ハ此限ニアラス又夕火薬庫ヨリ薬包ヲ交付スル時ハ箱ニ入レ其蓋ヲ閉チタルヤ否ニ注意スヘシ

(彈藥取扱)

第十二條

掌砲長ハ彈藥庫ニ彈藥及ヒ火薬ヲ貯蔵収蔵シ或ハ之レヲ取扱フ時ハ其箱ニ空氣或ハ濕氣透入セサルヤウ密閉シタルヤニ注意シ又夕戰爭中ハ藥包ニ火薬ヲ填充スヘカラサルモノトス又夕藥包ニ充テサル火薬ヲ火薬庫外ヘ出シ置クヘカラス又夕戰爭ノ前ニハ彈藥交付所ノ鉛床ニ水ヲ灑キタルヤ否ニ注意スヘシ

但シ箱口ノ罅隔ニ唐ノ土ヲ塗リタルモノハ四ヶ月毎ニ檢査シ若シ欠損スル事アラハ再ヒ之レヲ塗ルヘシ

(濕氣ヲ含ミタル藥包)

第十三條

掌砲長ハ濕氣ヲ含ミタル藥包ハ元ノ箱ニ再ヒ収ムヘカラス又夕之レヲ濕氣ナキ藥包ト同箱ニ入ルゝ事ナク必ス之レヲ別箱ニ収蔵スヘシ又夕一回大砲ニ填寫シタル藥包ハ決シテ火薬庫ニ再入スヘカラサルモノナレハ操練等終リタル時大砲ニ填寫ノ彈丸ハ之レヲ出シ火薬ハ放發スルカ海中ニ棄ル事ニ注意スヘシ

(火薬箱ノ鍵)

第十四條

掌砲長ハ火薬箱ノ鍵ヲ自ラ所持スヘシ  
(彈庫)

第十五條

彈藥庫ニ於テハ發火物ヲ禁シ常靴ヲ用ヒサル等其他火薬庫内ニ於ケルガ如ク注意ヲ要スヘシ

(小銃彈藥火具返納)

第十六條

掌砲長ハ操練或ハ他ノ目的等ニテ小銃並ニ彈藥火具等ヲ取り出シ而シテ再ヒ之レヲ收入スル時ニ當リ燧石雷管爆發物等ト一同ニ收納セサンヤウ注意スヘシ

(砲銃手入)

第十七條

掌砲長ハ務メテ大砲ノ濕氣ヲ去リ火門ハ淨拭シ・セサルヤウニナシ膳中ハ常ニ清潔ニナス事ニ注意スヘシ但シ照尺照星等大切ナル部分ハ磨クヘカラス軟力ナル布ヲ以テ拭フヘシ

(鐵砲修復引換)

第十八條

掌砲長ハ砲銃及ヒ火門照星砲車其他附屬諸具等ニ至ル迄屢々點檢ヲナシ若ハ損所アラハ直ニ修復或ハ引換ヲ申出ツヘシ

(定額外砲具)

第十九條

掌砲長ハ外國航ノ為メ定額外ノ砲具及ヒ彈藥ヲ艦内ニ貯蓄スヘキ時ハ古ク貯ヘタル品ヨリ費用スル事ニ注意スヘシ

(實彈檢測)

第二十條

掌砲長ハ實彈ヲ艦内ニ收受スル時ハ其彈ノ寸尺適當ナルヤ否ヲ檢測シ種類不同ノ實彈ハ區別シ置クヘシ而シテ實

彈ハ湿気ナキ所ニ収蔵シ三四ヶ月毎ニ検査シテ之レニ  
ヲ生セサルヤウ注意スヘシ

(戰爭用意)

第二十一条

掌砲長ハ戰爭用意ノ節砲座ノ諸具其他ノ兵器總テ備具セ  
ルヤ否ニ注意スヘシ

(彈藥消費)

第二十二條

掌砲長ハ戰爭後ニ於テ戰爭中消費シタル彈藥火具並ニ砲  
具ノ總計ヲ証スル為メ其残余品ノ検査ヲ艦船長ヘ申出ツ  
ヘシ但シ平時操練祝砲等ニ消費シタル員數モ同断タルヘ  
シ

(銃隊分遣)

第二十三條

銃隊ヲ艦外ヘ分遣スル時掌砲長ハ其隊ヘ授ケタル銃砲彈  
藥及ヒ諸具ノ目錄ヲ記載シ其隊長ノ調印ヲ受ケ歸艦ノ節  
目錄ニ照シ之レヲ検査シ欠損ノ有無ヲ副長ヘ届出ツヘシ

(大砲保存)

第二十四條

掌砲長ハ大砲ヲ艙内ヘ下シ置ク時力或ハ陸上ヘ運搬スル  
時ニ當リテハ能ク保存ノ法ニ注意スヘシ

(火藥運搬)

第二十五條

掌砲長ハ火藥ヲ他ヘ運搬シタル後ハ藥包ニ充テサル火藥  
尙火藥庫内ニ残ル事ナキヤ否ヲ検査シ又夕藥包ヲ箱ニ入  
レ他ヘ運搬セハ藥包其箱ニ残ル時ナキヤ否ヲ親シク吟味  
スヘシ夕火藥ノ箱損破スルモノハ鐵或ハ銅釘ヲ用ヒテ修  
繕セサルヤウ注意スヘシ但シ火藥箱ノ材料ハ決シテ檜ヲ

用ユヘカラサルモノトス

(兵器工用具)

第二十六條

掌砲長ハ兵器工所用ノ諸具ヲ請持チ入用ノ都度之レヲ兵  
器工ニ渡スヘシ而シテ兵器工ハ其渡サレタル諸具ヲ大切  
ニ取扱ヒ員數等ハ常ニ能ク調ヘ置クヘシ

(兵器工ノ行狀)

第二十七條

掌砲長ハ兵器工長以下ノ行狀ヲ監視シ又夕其職務ニ勉勵  
セルヤ否ニ注意スヘシ

(端船小銃覆)

第二十八條

軍装端船ニハ小銃覆ヲ設ケ置クヘシ

(発火浮子)

第二十九條

掌砲長ハ発火浮子(ライフブーイ)ニ注意シ若シ不慮ノ  
溺人アル時應用ニ差支ナキヤウ常ニ準備シ置クヘシ但シ  
夕点檢ノ節之レヲ報告ス

(砲術操練規則)

第三十條

掌砲長ハ大小砲操練規則等海軍一定ノ教則ニ依リ施行ス  
ヘシ